

選択的評価基準「研究活動の状況」の自己評価の根拠となる
資料・データ等例（案）

選択的評価基準A 研究活動の状況

A - 1 研究体制及び研究支援・推進体制が適切に整備され、機能していること。

A - 1 - 研究体制及び研究支援・推進体制が適切に整備され、機能しているか。

- ・ 教員，研究員（ポストドクターを含む。）等の配置や，研究組織の構成の状況
- ・ 研究支援組織（事務組織や技官組織等）の整備・機能状況
- ・ 研究推進（研究面での社会連携の推進なども含む。）のための施策の企画・立案等を行う組織（例えば，研究推進委員会，研究推進室，産学連携推進本部等）の整備・機能状況
- ・ 研究設備等の整備・機能状況
- ・ 研究成果の発信や刊行のための組織の整備・機能状況

A - 1 - 研究活動に関する施策が適切に定められ，実施されているか。

- ・ 外部研究資金の獲得や大学内部での研究資金の配分に関する施策の実施状況
- ・ 研究者の育成や研究時間の確保に関する施策の状況
- ・ 大学の目的に即した研究推進に関する施策（重点研究分野の設定，学際研究プロジェクトの促進，萌芽的研究の支援など）の実施状況
- ・ 国内外の共同研究推進支援に関する施策の実施状況
- ・ 研究成果の公表・発信，知識・技術の移転に関する施策の実施状況
- ・ 利益相反，生命倫理，環境・安全等の規程

A - 1 - 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し，問題点等を改善するためのシステムが適切に整備され，機能しているか。

- ・ 各種委員会等のシステム体制及び活動状況（組織等相互関連図，関係諸規定，記録等）
- ・ 外部評価，自己点検・評価等の実施状況
- ・ 外部評価報告書または自己点検・評価報告書の該当部分
- ・ 具体的改善方策の内容等

A - 2 研究活動が適切に行われており，研究の成果が上がっていること。

A - 2 - 研究出版物，研究発表，特許，その他の成果物の公表状況等及び国内外の大学・研究機関との共同研究や地域との連携状況等から見て，研究が活発に行われているか。

・ 研究活動業績調書

【調書への記載が考えられるもの】

論文（論文名，著者全氏名，掲載誌名，発行年次，巻，ページ数）
著書（著書名，著者全氏名，発行年次，出版社名等）
特許（件名，全発明者名，特許番号，出願者名，出願日又は取得日）
芸術作品・技術製品等（絵画，映像，演奏，建造物，データベース等）
外部者からの評価

- ・ 国内外の学会での招待基調講演（発表タイトル，学会名，日時，場所等）
- ・ 国内外の大学・研究機関との共同研究や連携（国際シンポジウム開催や海外研究者の訪問等を含む）の状況
- ・ 地域社会・関係団体等との連携の状況

A - 2 - 競争的研究資金の獲得状況，外部評価や研究プロジェクト等の評価，受賞状況等から見て，研究の質が確保されているか。

・ 競争的研究資金の獲得状況

- ・ 外部評価された際の，研究成果やその質の評価結果を把握できる資料
- ・ 各種の競争的研究資金制度や 21 世紀 COE プログラム等において，当該大学の研究プロジェクトや研究活動が評価された際の，研究成果やその質の評価結果を把握できる資料
- ・ 学術賞受賞状況（国際賞，国際学会賞，国内賞，国内学会賞についての受賞者名，受賞年，受賞タイトル）

A - 2 - 社会・経済・文化の領域における研究成果の活用状況や関連組織・団体からの評価等から見て，社会・経済・文化の発展に資する研究が行われているか。

・ 地域への貢献を把握できる資料（新聞記事，自治体の広報誌等）

- ・ 技術移転，起業の状況
- ・ 産業界や関連組織・団体へのアンケート調査等の結果
- ・ 研究に関連する国や自治体の各種審議会等への参加，及びその活動を通じての研究成果の社会・経済・文化的発展への寄与が把握できる資料
- ・ 文化的な貢献を把握できる資料（書評・論文評，新聞や一般書等での引用・紹介記事等）